



特定小電力無線電話中継装置

RP88

取扱説明書

このたびは、400MHz 帯特定小電力無線電話中継装置 RP88 をお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。

RP88 は当社の厳重な品質管理および検査のもとに生産、出荷されておりますが、万一ご不審な点がありましたら、なるべくお早めにお買い上げいただいた販売店あるいは(株)スタンダードの営業所、サービスセンターへお申し付けください。



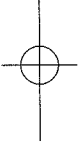
目次

ご使用のまえに	i
安全上のご注意	i
目次	1
本機の特徴	2
梱包品一覧	3
各部の名称	4
本体各部の名称	4
表示部名称	6
ご使用になる前の準備	7
ブラケットの取り付け	7
ACアダプターの取り付け	8
アンテナの位置変更	8
基本操作	9
電源オン・オフ	9
チャンネル番号合わせ	9
中継機能	10
キャリアモード中継	11
トーンモード中継	12
デジタルモード中継	13
応用操作	15
本機を使つての送信・受信	15
モニター機能	16
キーロック機能	17
オールリセットについて	17
その他の機能について	17
チャンネル表示の互換について	18
定 格	19
保証・アフターサービスについて	20
オプション紹介	20

本機は、国内仕様です。国外では
使用できませんのでご注意ください。

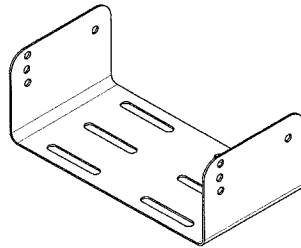
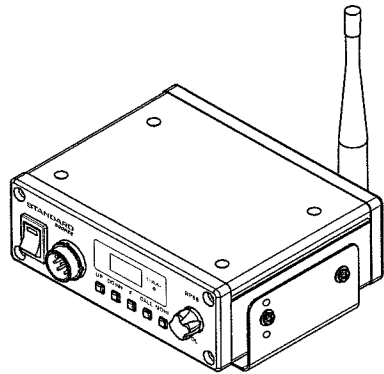


本機の特徴

1. 本機は、電波法施行規則第6条「特定小電力無線局」に該当する400MHz帯複信方式トランシーバーで、特定無線設備の技術基準適合証明等に関する規則(証明規則)第2条8号「工事設計の認証(認証)を受けた無線局」です。免許および申請手続きは一切不要ですので、お買い上げいただいたその日から、ご使用になれます。
 2. 本機はRCR-STD20に準拠する特定小電力無線電話中継装置で、FTH-301M、FTH-301RT、FTH-208、HX812など子機からの電波を中継します。
 3. 本機は子機からの電波を中継するだけでなく、本機を使って他のFTH-301M、FTH-301RT、FTH-208、HX812などの子機と通信することができます。
 4. 電源は付属のACアダプターで外部からDC12Vを供給します。
 5. 周波数は業務チャンネル12～29チャンネル(421.5750～421.7875MHz/440.0250～440.2375MHz)及びレジャーチャンネル10～18チャンネル(421.8125～421.9125MHz/440.2625～440.3625MHz)です。中継制御方法はキャリア、CTCSSトーン(グループ番号)、デジタル(MSK)の3種類です。
 6. 工場出荷時の設定での通話可能範囲は、周囲の建物等の状況により異なりますが、見通しの良い場所(スキー場や海岸など)では、約1kmです。
- 
- 
- 

梱包品一覧

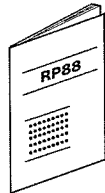
無線機本体..... 1台 ブラケット..... 1個



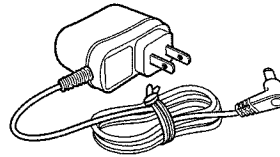
ブラケット取付用ビス..... 4個



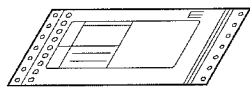
取扱説明書..... 1部



ACアダプター (PA-37A)..... 1本



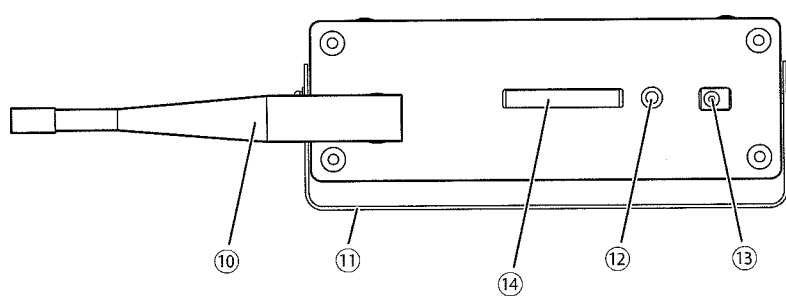
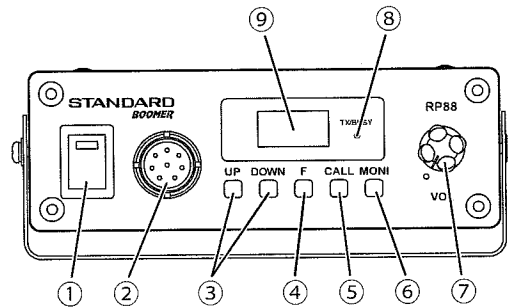
保証書..... 1部



営業所一覧..... 一部



各部の名称



本体各部の名称

- ① 電源スイッチ
このスイッチの上側を押すと電源が入ります。
このスイッチの下側を押すと電源が切れます。
- ② マイク接続端子
この端子に別売のマイクを接続することにより、本機から子機に対して通話できるようになります。

③ UP / DOWN キー

UP キーを押すと、数字は上がります。DOWN キーを押すと、数字は下がります。

これらのキーを押し続けると、数字は早く変わります。

UP / DOWN キーを押すことで切り替えられるのは、次のようになります。

●チャンネル番号、グループ番号(デジタル番号)、シグナリング設定

すべてのチャンネルについてそれぞれ独立してキャリアモード、トーンモード、デジタルモードの設定ができます。

④ F キー

このキーを短く押すことで、UP/DOWN キーで変更する項目を切り替えます。

キーを押すごとに項目は、次のように切り替っていきます。マークが下にある項目が変更可能な項目です。

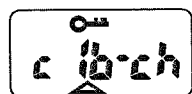


表示部の下には、シグナリング変更時は★、チャンネル変更時は△、グループ番号変更時は▲が点灯します。

このキーを長押しすると、キーロックの設定、解除を行います。

キーロック状態にすると UP/DOWN が使えなくなります。

例：キャリアモード 16 チャンネル、キーロック状態



⑤ CALL キー

別売のマイクを接続したとき、マイクの PTT もしくはこの CALL キーを押して、本機から送信して通話します。

⑥ MONI キー

別売の外部スピーカーを接続したとき、このキーを短く押して、スケルチミュートの解除、設定を行います。

⑦ 音量ツマミ

時計方向(↻)へ回すと音量が大きくなります。

反時計方向(↻)へ回すと音量が小さくなります。

⑧ TX/BUSY ランプ

このランプは、送信の時赤く点灯、受信の時は緑に点灯、中継中は橙に点灯します。

⑨ 表示部

チャンネル番号、グループ番号、シグナリングの選択状態、キーロック機能やその他機能の設定状態の表示を行います。

⑩ アンテナ

このアンテナを回して、本機を取り付けやすい位置や、よく受信する位置にします。

△ 注意

アンテナの回転範囲は上下 180°です。この範囲を超えて、無理に回そうとするとアンテナを破損する原因となりますのでご注意ください。

⑪ ブラケット

このブラケットを使って本機を取り付けます。

⑫ 外部スピーカー接続端子

この端子に別売のスピーカーを接続する事により子機からの音声を聞くことができます。

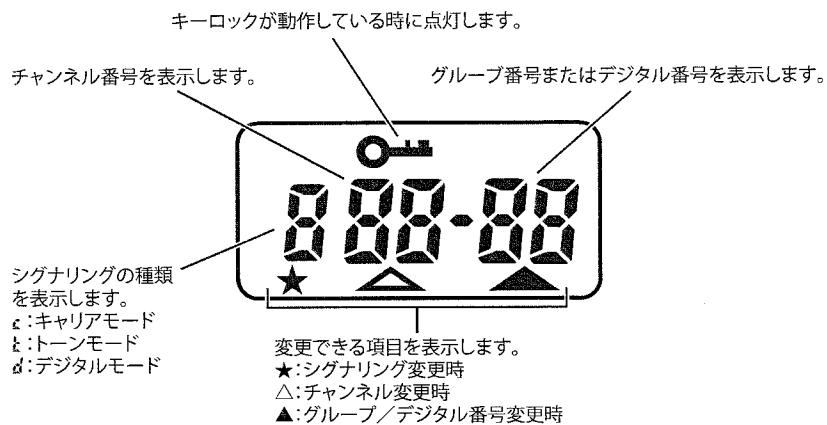
⑬ DC12V 入力端子

この端子に付属の AC アダプターを接続します。

⑭ 拡張機能用コネクタ

通常は使用しません。

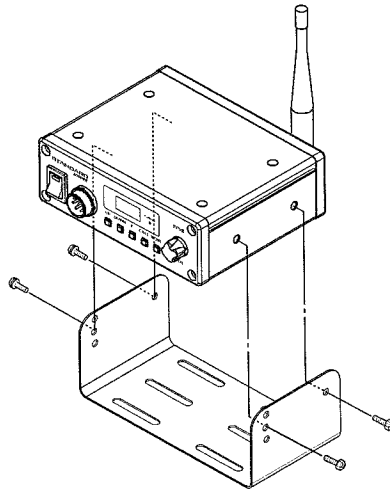
表示部名称



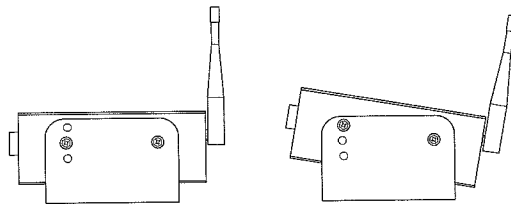
ご使用になる前の準備

ブラケットの取り付け

付属の専用ネジで、下図のように取付けます。



前の穴の位置を変えることで角度を変えることができます。

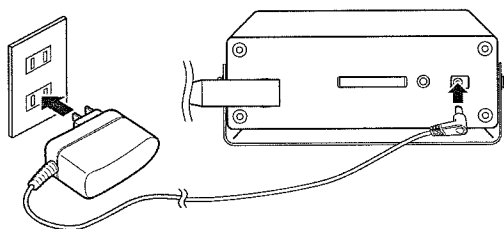


⚠ 注意

ブラケットを取り付けるときは、ネジは必ず付属ものを使用してください。付属以外のネジをお使いになると、無線機内部の破損またはブラケットの脱落の原因となることがあります。

ACアダプターの取り付け

1. 電源スイッチが切ってあることを確認してください。
2. ACアダプターのDCプラグ部を本機のDC12V入力端子に挿入します。
3. ACアダプターを交流100Vのコンセントに差し込みます。

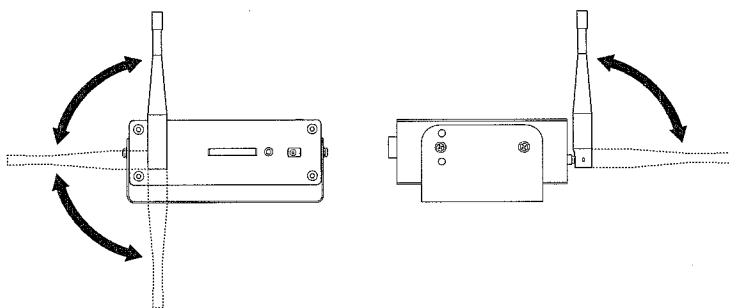


⚠ 警告

交流100V以外の電圧でACアダプターを使用しないでください。火災、感電の原因になります。

アンテナの位置変更

アンテナは、下図に示す範囲で位置を動かすことができます。



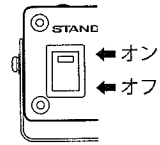
⚠ 注意

アンテナを稼働範囲以上に動かすと、アンテナを破損します。
アンテナはACアダプター本体やケーブルに近づけないでください。ノイズが発生する原因になります。

基本操作

電源オン・オフ

1. 電源スイッチの上側を押すと赤色ランプが点灯し電源が入ります。
電源が入り待受け状態となります。
2. 電源スイッチの下側を押すと赤色ランプが消え電源が切れます。

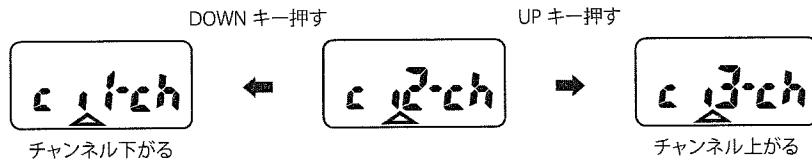


アドバイス

- (1) 中継器として使用する場合は、音量の調節は必要ありません。

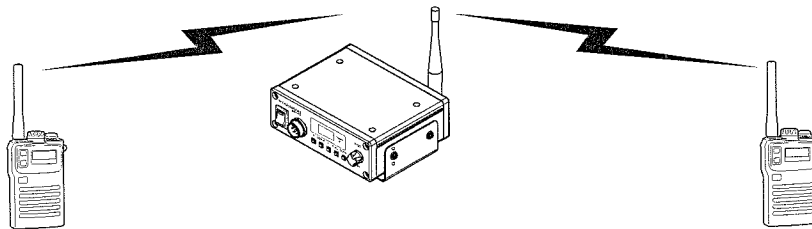
チャンネル番号合わせ

1. 通話する相手と UP キー / DOWN キーを使ってチャンネル番号を合わせます。

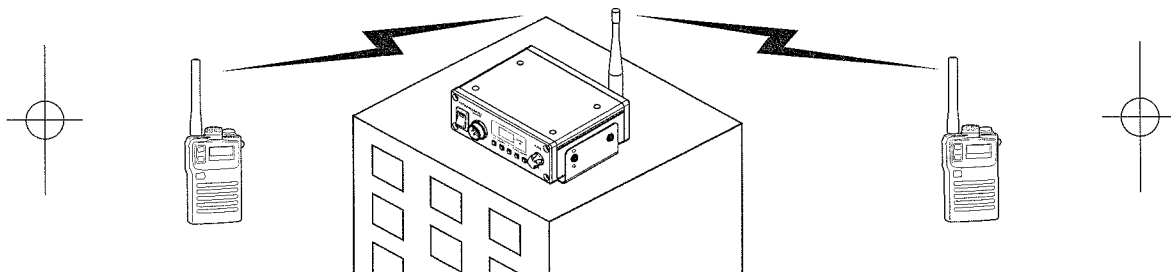


中継機能

本機の基本となる機能です。
無線機同士が離れていて電波が届かない時に、本機を間に置いて、その電波を中継することで、無線機の運用範囲を広げることができます。



また、無線機同士の間にビル等の遮蔽物があり、直接電波が届かない時に、本機を間に置いて、その電波を中継することで、無線機が運用できるようにします。

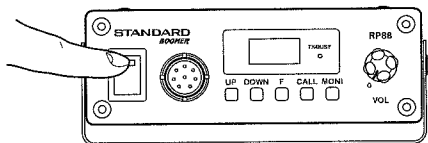


キャリアモード中継

本機の基本となるモードです。

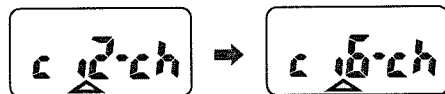
中継する子機のチャンネル番号のみを合わせて、子機からの通信を中継するモードです。

1. 電源スイッチを入れます。
(中継器として使用する場合、音量ツマミの位置はどの位置でも結構です。)



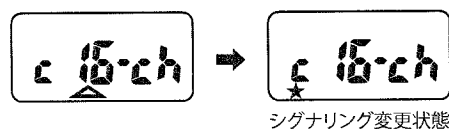
2. F キーを何度か押してチャンネル変更状態(△が点灯)にし、UP または DOWN キーを押して中継したい子機のチャンネル番号に合わせます。

チャンネルを合わせる



3. F キーを何度か押してシグナリング変更状態(★が点灯)にし、UP または DOWN キーを押してキャリアモード(c)にします。

F キー押す



4. 以上で、中継機能の準備は終了です。
5. 子機の PTT を押して通話します。

アドバイス

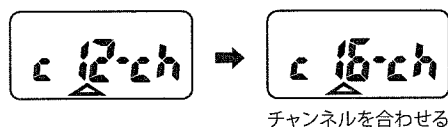
- (1) 表示部に **○** が表示されているときは、キーロック状態ですからチャンネル番号の変更はできません。
- (2) 通話する相手とチャンネル番号が一致していないときは中継はできません。
- (3) 変更されたチャンネル番号はバックアップされます。一度電源を切った場合でも次回からの運用は、変更後の番号で動作します。
- (4) 通信制限時間は 3 分です。3 分経過すると自動的に中継を停止します。別売の外部スピーカーを接続しているときは、中継を停止する 10 秒前に外部スピーカーからブブという報知音を出力します。

トーンモード中継

中継する子機がトーンを使っているときに、チャンネルとトーン番号を合わせて、子機からの通信を中継するモードです。

1. 電源スイッチを入れます。
(中継器として使用する場合、音量ツマミの位置はどの位置でも結構です。)
2. F キーを何度か押してチャンネル変更状態(△が点灯)にし、UP または DOWN キーを押して中継したい子機のチャンネルに合わせます。

UP / DOWN キー押す



3. F キーを何度か押してシグナリング変更状態(★が点灯)にし、UP または DOWN キーを押してトーンモード(と)にします。

F キー押す

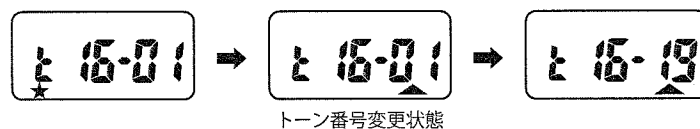
UP / DOWN キー押す



4. F キーを何度か押してトーン番号変更状態(▲が点灯)にし、UP または DOWN キーを押して中継したい子機のトーン番号に合わせます。

F キー押す

UP / DOWN キー押す



5. 以上で、中継機能の準備は終了です。
6. 子機の PTT を押して通話します。

アドバイス

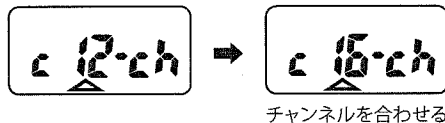
- (1) 表示部に **○** が表示されているときは、キーロック状態ですからチャンネル番号およびトーン番号の変更はできません。
- (2) 通話する相手とチャンネル番号とトーン番号が一致していないときは通話はできません。
- (3) 変更されたチャンネル番号およびトーン番号はバックアップされます。一度電源を切った場合でも次回からの運用は、変更後の番号で動作します。
- (4) 通信制限時間は3分です。3分経過すると自動的に中継を停止します。別売の外部スピーカーを接続しているときは、中継を停止する10秒前に外部スピーカーからブブという報知音を出力します。

デジタルモード中継

中継する子機が FTH-301M または FTH-301RT の場合、デジタル方式の個別呼出し機能が設定されているときに、本機のチャンネルとデジタル番号を合わせて、子機からの通信を中継するモードです。

1. 電源スイッチを入れます。
(中継器として使用する場合、音量ツマミの位置はどの位置でも結構です。)
2. F キーを何度か押してチャンネル変更状態(△が点灯)にし、UP または DOWN キーを押して中継したい子機のチャンネルに合わせます。

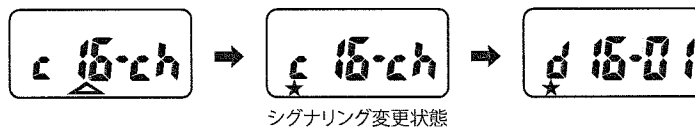
UP / DOWN キー押す



3. F キーを何度か押してシグナリング変更状態(★が点灯)にし、UP または DOWN キーを押してデジタルモード(d)にします。

F キー押す

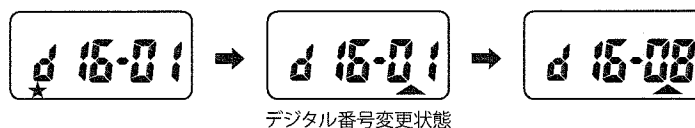
UP / DOWN キー押す

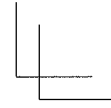
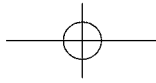


4. F キーを何度か押してデジタル番号変更状態(▲が点灯)にし、UP または DOWN キーを押して中継したい子機のデジタル番号に合わせます。

F キー押す

UP / DOWN キー押す




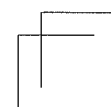
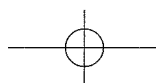
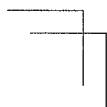
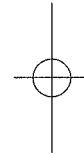
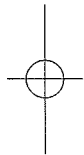


5. 以上で、中継機能の準備は終了です。

6. 子機の PTT を押して通話します。

アドバイス

- (1) 表示部に  が表示されているときは、キーロック状態ですからチャンネル番号およびデジタル番号の変更はできません。
- (2) 通話する相手とチャンネル番号とデジタル番号が一致していないときは中継はできません。
- (3) 変更されたチャンネル番号およびデジタル番号はバックアップされます。一度電源を切った場合でも次回からの運用は、変更後の番号で動作します。
- (4) 通信制限時間は3分です。3分経過すると自動的に中継を停止します。別売の外部スピーカーを接続しているときは、中継を停止する10秒前に外部スピーカーからブブという報知音を出力します。



応用操作

本機を使つての送信・受信

本機を無線機として他の子機と送受信することができます。あらかじめ別売のスタンドマイク CMP825 をマイク接続端子に、8 Ωのスピーカーを外部スピーカー接続端子に接続しておきます。

1. 電源スイッチを入れます。
2. MONI キーを押します。
スピーカーからザーという音が出てきます。
3. スピーカーから出てくる音を聞きながら、音量ツマミを回し、音量を調節します。
4. F キーを何度か押してチャンネル変更状態(△が点灯)にします。
5. UP または DOWN キーを押して送受信したいチャンネルに合わせます。

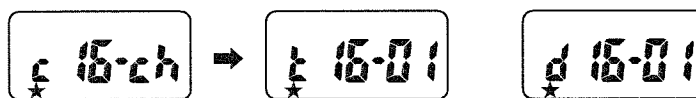
UP / DOWN キー押す



チャンネルを合わせる

- トーン番号またはデジタル番号を使わない時は手順 10 へ進んでください。
6. F キーを何度か押してシグナリング変更状態(★が点灯)にします。
 7. UP または DOWN キーを押してキャリアモード(c)、トーンモード(b)、デジタルモード(d)を選択します。

UP / DOWN キー押す

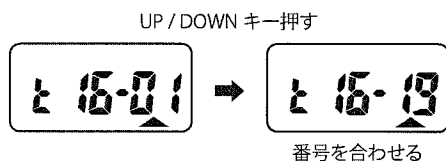


トーンモード

デジタルモード

8. F キーを何度か押してトーン番号(またはデジタル番号)変更状態(▲が点灯)にします。

9. UP または DOWN キーを押して送受信したい番号に合わせます。



10. TX/BUSY ランプが緑に点灯していないことを確かめます。
本機の TX/BUSY ランプが緑色に点灯しているときは、第三者との混信が想定されます。そのときは緑色のランプが消えるまでしばらく待つか、他のチャンネルに変更する必要があります。
11. スタンドマイクの PTT もしくは本機の CALL キーを押しながら、マイクに向かって話します。
通信制限時間は 3 分です。3 分経過すると自動的に送信を停止します。
12. 話しが終わりましたら、スタンドマイクの PTT を放すか、もしくは本機の CALL キーを放してください。

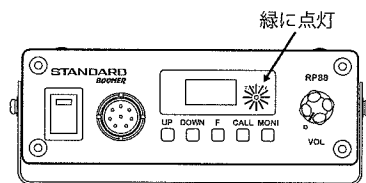
アドバイス

- (1) 表示部に が表示されているときは、キーロック状態ですからチャンネル番号およびトーン番号またはデジタル番号の変更はできません。
- (2) 通話する相手とチャンネル番号およびトーン番号またはデジタル番号が一致していないと送受信はできません。
- (3) 変更されたチャンネル番号(またはデジタル番号)はバックアップされます。一度電源を切った場合でも次回からの運用は、変更後の番号で動作します。

モニター機能

中継や通話中の相手の電波が弱く音声途切れるとき、または音量を調節するときなどにお使いください。音量調整は別売の外部スピーカーを接続時のみ確認できます。

1. MONI キーを押します。
モニター機能が働きます。

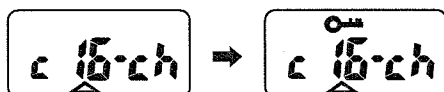


2. モニター機能を解除するには、再度 MONI キーを押します。

キーロック機能

キーロック機能が働くと、+キーとーキー操作ができなくなります。

1. F キーを 2 秒以上押します。
キーロック機能が働きます。



キーロック状態

キーロック機能は、電源を切って、再度入れ直しても保持されています。

2. キーロック機能を解除するには、再度 F キーを 2 秒以上押します。

オールリセットについて

本機の設定を出荷時の状態に戻します。オールリセットを行うと全ての設定を出荷時の状態に戻してしまいますので、再度本機の設定を行うことが必要となる場合があります。したがって、オールリセットはお客様自身が行わず、お買い上げになった販売店または(株)スタンダードの各営業所で行うことをお勧めします。

1. 電源を切ります。
2. F キー、CALL キー、MONI キーを押しながら電源を入れます。
本機の設定が出荷状態に戻ります。
3. 電源を切ります。

その他の機能について

バックライト機能

UP、DOWN、F、MONI キーを押したとき、5 秒間バックライトが点灯します。

バックライトは 5 秒後、自動的に消灯します。

点灯中、キー操作があった時はその時点から 5 秒後に消灯します。

TX/BUSYランプの表示について

TX/BUSY ランプは、次のように点灯/点滅します。

赤色(点灯)：送信中

緑色(点灯)：受信中(待ち受け中に MONI キーを押した場合)

橙色(点灯)：中継中

クイックアクセスモードについて

クイックアクセスモードに切り換えることにより、HX808D、HX809D、HX815 でもご使用になることができます。クイックアクセスモードへの切り換え、動作内容に関してはご購入の販売店もしくは(株)スタンダードの営業所にお問い合わせください。

チャンネル表示の互換について

本機と子機の一部製品 (HX812 等) との間では、同じチャンネル (周波数) を使っていても表示が異なるものがあります。本機とそれらの子機との表示とチャンネルの互換は以下の表のようになります。

本機及び FTH208 等		HX812 等	
チャンネル	表示	チャンネル	表示
12	12	01	01
13	13	02	02
14	14	03	03
15	15	04	04
16	16	05	05
17	17	06	06
18	18	07	07
19	19	08	08
20	20	09	09
21	21	10	10
22	22	11	11
23	23	12	12
24	24	13	13
25	25	14	14
26	26	15	15
27	27	16	16
28	28	17	17
29	29	18	18

本機及び FTH208 等		HX812 等	
チャンネル	表示	チャンネル	表示
10	10	1	1
11	11	2	2
12	12	3	3
13	13	4	4
14	14	5	5
15	15	6	6
16	16	7	7
17	17	8	8
18	18	9	9

定 格

● 一般仕様

送受信周波数	送信 421.5750MHz ~ 421.9125MHz (12.5kHz ステップ)
	受信 440.0250MHz ~ 440.3625MHz (12.5kHz ステップ)
電波形式	F3E、F2D
通信方式	複信(フルデュプレックス)方式
周波数偏差	± 4ppm 以内
キャリアセンス	7dB μ 以下
消費電流	受信待受時 約 180mA 中継時 約 230mA
動作温度範囲	- 10 ~ + 50°C
寸法	幅 132.6mm 高さ 45.6mm 奥行き 106mm (アンテナ、突起物含まず)
質量	約 500g

● 受信部

受信方式	ダブルスーパーヘテロダイン方式
受信感度	- 4dB μ 以下 (@ 12dB SINAD)
スケルチ感度	- 6dB μ 以下
低周波出力	1W 以上 (@ 8 Ω)
副次的に発射する電波等の強度	4nW 以下

● 送信部

送信出力	10mW 以下 (10mW 設定時) 1mW 以下 (1mW 設定時)
変調方式	可変容量ダイオードによる直接周波数変調方式
最大周波数偏移	± 2.5kHz 以内
占有周波数帯域幅	8.5kHz 以内
不要輻射強度	2.5 μ W 以下

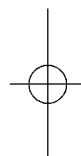
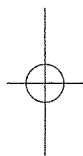
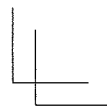
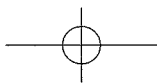
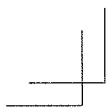
■ 本機の規格および外観は改良のため、予告なく変更することがありますのでご了承ください。

保証・アフターサービスについて

1. この商品には、保証書を添付しています。保証書は、「お買い上げ販売店印・保証期間」をご確認のうえ、お受け取りください。
2. 保証書は、よくお読みのうえ大切に保管してください。
3. 保証期間は、お買い上げの日より一年間です。正常なご使用で、この期間内に故障したときは、お買い上げになった販売店または(株)スタンダードの各営業所で保証記載事項に基づき「無料修理」いたします。
4. 保証期間経過後の修理は、修理により機能が維持できる場合、ご要望により有償修理いたします。
5. 補修用部品の詳細・ご贈答・ご転居等によるアフターサービスについての不明点は、お買い上げになった販売店または添付の(株)スタンダードの各営業所にご遠慮なくご相談ください。
6. この商品は、無線設備規則第49条14に基づき、容易に開けられない構造になっています。そのため特殊なビスにより組み立てられています。アフターサービスの際は、必ずお買い上げ販売店または(株)スタンダードの各サービスセンター、営業所にお問い合わせください。

オプション紹介

CMP825卓上型スタンドマイク



株式会社スタンダード

〒153-8645 東京都目黒区中目黒4丁目8番8号

お問い合わせは、最寄りの株式会社スタンダード、各営業所、サービスセンターで承っております。付属の全国営業所一覧をご覧ください。

この取扱説明書は、再生紙を使用しています。

Printed in Japan

2005/12 C0008AC851110

